

## 2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	感覚・知覚心理小委員会	主 査 名：合掌 顕 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境心理生理運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：宗方 淳
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>温熱、光、音、空気など、異なる感覚・知覚心理生理を評価の対象とする研究者、実務家の協働により、居住空間の実用的な評価手法を探る。</p> <p>初年度：国内外における居住空間の環境評価に関する研究の動向把握 2 年度以降：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外における居住空間の環境評価に関する研究の動向把握</li> <li>● 評価尺度、評価者、音・光・熱・空気の各環境要素の個別の影響および複合影響等に関する資料整備</li> <li>● 研究状況の総括と当該分野における展望の提示</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：</p> <p>主査：合掌 顕 (岐阜大学) 幹事：光田 恵 (大同大学) 委員：松原 斎樹 (京都府立大学)、山中 俊夫 (大阪大学)、西名 大作 (広島大学)、梅宮 典子 (大阪市立大学)、土田 義郎 (金沢工業大学)、澤島 智明 (佐賀大学)、秋田 剛 (東京電機大学)、原田 昌幸 (名古屋市立大学)、宮本 征一 (摂南大学)、原 直也 (関西大学)、森原 崇 (石川高専) 竹村明久 (摂南大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>&lt;環境要素と複合影響評価検討 WG&gt; 国内外における居住空間の環境評価に関する研究動向の把握、および評価尺度、評価者、各環境要素の個別の影響と複合影響等に関する資料を整備の中で、環境要素の複合影響や多様な空間における評価の違い、統計解析手法について検討する。</p> <p>&lt;居住環境評価法検討 WG&gt; 国内外における居住空間の環境評価に関する研究動向の把握、および評価尺度、評価者、各環境要素の個別の影響と複合影響等に関する資料を整備の中で、居住空間評価のための尺度や生理量測定、評価者の個人差、評価パネルの選定法について検討する。</p>	
2021 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	感覚・知覚小委員会：3 回 (年度内開催予定を含む) ・環境要素と複合影響評価検討 WG：2 回 ・環境心理教育検討 WG：5 回 (年度内開催予定を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし

大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>今年度の小委員会、およびWGは新型コロナウイルスの蔓延状況を勘案し、オンラインで行うこととした。</p> <p><b>第1回小委員会</b>では、小委員会とWGの設置趣旨、活動目的と計画について主査より説明を行い、それに対する質疑を行った。その後、WGごとにブレイクアウトルームに移動し、<b>第1回WG</b>を行った。各WGではWGの活動内容と次回勉強会の内容について意見交換を行なった。</p> <p><b>第2回環境要素と複合影響評価検討WG</b>では、第2回小委員会で開催予定の研究会の内容について、2名の委員よりそれぞれ研究紹介を行っていただくこととし、その内容について勉強会を行った。<b>第2回小委員会</b>では上記2名の先生に研究紹介（オフィスにおける情報共有に関する行動分析について・建築空間における視覚と聴覚の関連性について）を行なっていただき、それに対して活発な質疑が行われた。</p> <p><b>第2回居住環境評価法検討WG</b>では、空気環境・熱環境の評価項目・尺度・生理量の測定方法について、3名の委員より話題提供を行ってもらった。<b>第3回WG</b>では音環境・光環境の評価項目・尺度・生理量の測定方法について、2名の委員にご報告いただいた。<b>第4回WG</b>では2名の委員より同様にご報告いただき、<b>第5回WG</b>では<b>第3回小委員会</b>での報告の内容について検討する予定である。</p> <p>以上のように、今年度は小委員会における研究会の開催を軸に、両WGで積極的な活動を行なった。また小委員会においては研究会を通じて空間の環境評価にかかる国内外の研究動向を把握し、質疑を通じて知見を共有することができた。</p>
委員会活動の問題点・課題	特になし

